報道関係者各位
ニュースリリース

令和５年６月１５日
JAあいち豊田

生き物を育む農業を親子で体験
赤とんぼ米生き物観察会

赤とんぼが舞う農村風景の復活を目指す豊田・みよし環境保全型農業推進協議会（ＪＡあいち豊田、愛知県、豊田市、みよし市）は７月１日（土）、特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」作りに賛同する消費者が集まる「赤とんぼ友の会」を招いて生き物観察会を開きます。今年は、17 家族 60 人が参加予定で、赤とんぼ米を栽培する豊田市花沢町の水田で行います。

生き物観察会は 2016 年から始まり、今回で６回目。前回の観察会では全国的に激減したアキアカネのヤゴの抜け殻 1 つを確認しました。環境に配慮した農業が少しずつ成果を上げていると関係者は期待を寄せています。

赤とんぼ米の栽培は手間がかかる分、米の価格に反映されるため、継続的に栽培できるよう消費者の理解促進を目的として同観察会を開いています。

▲水田に住む生き物を観察し、環境について考えます

令和５年産　赤とんぼ米栽培概況

栽培農家	24 戸
栽培面積	約 17 ヘクタール 前年比 100%
出荷予定量	1,218 俵（73.0 トン）前年比 130%

赤とんぼ米とは？

「赤とんぼ米」は農薬により激減したといわれる赤とんぼの復活を目指し、環境にやさしい農薬を使い、赤とんぼの生態に配慮して栽培されたお米で、2016 年から出荷を始めました。農薬の成分数は愛知県の慣行基準の5割以下で、化学肥料に含まれるチッソ成分5割以下の特別栽培米です。一般消費者を含めて、栽培を客観的に検証する「環境保全型農業認証委員会」を設置し、一般米との差別化を図っています。人にも環境にも優しい安全・安心なお米です。

取　材　日

日　時：７月１日（土）　午前１０時００分～　雨天決行
場　所：豊田市花沢町芦原３２付近の水田

※午前９時３０分までにＪＡあいち豊田下山営農センター(豊田市大沼町越田和 37-1)にお越しいただければ、ＪＡ職員が生き物観察会場に誘導いたします。
※農道への駐車となるため、近隣住民への配慮をお願いいたします。
※取材希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先：
ＪＡあいち豊田　営農生活部　営農相談課　　担当：宇野
〒471-8511　豊田市西町４丁目５番地　電話（0565）31-2460
または、広報課 電話（0565）31-2361　E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

協同の力で未来をつむぐ
JAあいち豊田 × SDGs